

クローデット・コルベール

Claudette Colbert

生年月日 1903/09/13

出身地 フランス／パリ

没年 1996/07/30

関連人物 ノーマン・フォスター（元夫）

【バイオグラフィ】

■本名はLily Claudette Chauchoin。父は外交官だった。6歳の時にNYへ渡り高校卒業後、速記者となつたが、女優を志し23年舞台デビュー。幾つかの舞台に立った後の27年「力漕一挺身」で映画デビュー。しかし当時は映画にあまり興味が無く、その後は舞台に専念。が、時代はトーキー移行期で、新たなスターを探していたパラマウントが彼女に目を付け、「女は嘘つき」や「壁の穴」に出演。それでも彼女は舞台にこだわり撮影はNYで行われ、夜には舞台に出演していたという逸話まである。34年にコロムビア作品の「或る夜の出来事」に出演してアカデミー主演賞を受賞。キャプラ、ケーブルと共に一躍有名になる。以降はコメディからシリアス・ドラマへとイメージを変え、40年にはフリーの身となってさまざまな役に挑戦。60年からは映画出演は無くなつたが、時々ブロードウェイに出演していたという。28年、舞台共演が縁でノーマン・フォスターと結婚するが35年に離婚。同年医者と再婚した。96年死亡。写真は左側からしか撮らせなかつた事は有名な話。

【フィルモグラフィ】

| | |
|-----------------------|----------------|
| グレンヴィル家の秘密（前・後）（1987） | 出演 |
| 妖艶美女大全集／銀幕の女神たち（1965） | 出演 |
| 二十歳の火遊び（1961） | 出演 |
| 運命（1954） | 出演 |
| 戦争と女（1953） | 出演 |
| マレー・ゲリラ戦（1952） | 出演 |
| 結婚しましょう（1951） | 出演 |
| 丘の雷鳴（1951） | 出演 |
| 狙われた結婚（1950） | 出演 |
| 三人の帰宅（1950） | 出演 |
| 花嫁売ります（1949） | 出演 |
| ママの新婚旅行（1948） | 出演 |
| 眠りの館（1948） | 出演 |
| 卵と私（1947） | 出演 :ベティ・マクドナルド |
| 離愁（1946） | 出演 |
| 秘めたる心（1946） | 出演 |
| 恋愛超特急（1946） | 出演 |
| 奥様の冒険（1945） | 出演 |
| 君去りし後（1944） | 出演 |
| 淑女と拳骨（1943） | 出演 |
| パームビーチ・ストーリー（1942） | 出演 |
| ひばり（1941） | 出演 |

| | |
|------------------|-----------------|
| 追憶 (1941) | 出演 |
| 囁きの木陰 (1940) | 出演 |
| ブーム・タウン (1940) | 出演 |
| モホークの太鼓 (1939) | 出演 |
| ミッドナイト (1939) | 出演 |
| 青髪八人目の妻 (1938) | 出演 |
| 巴里で逢った彼 (1937) | 出演 |
| トヴァリッヂ (1937) | 出演 |
| セイルムの娘 (1937) | 出演 |
| 花嫁の感情 (1936) | 出演 |
| 二国旗の下に (1936) | 出演 |
| 社長は奥様がお好き (1935) | 出演 |
| 輝ける百合 (1935) | 出演 |
| 白い友情 (1934) | 出演 |
| クレオパトラ (1934) | 出演 |
| 模倣の人生 (1934) | 出演 |
| 或る夜の出来事 (1934) | 出演 |
| 恐怖の四人 (1934) | 出演 |
| 霧笛の波止場 (1933) | 出演 |
| ブルースを唄ふ女 (1933) | 出演 |
| 三角の月 (1933) | 出演 |
| 百米恋愛自由型 (1932) | 出演 |
| 暴君ネロ (1932) | 出演 |
| お化け大統領 (1932) | 出演 |
| 彼女の名誉 (1931) | 出演 : ジュリア・トレイナー |
| 女秘書の秘密 (1931) | 出演 |
| 貨物船と女 (1931) | 出演 |
| 陽気な中尉さん (1931) | 出演 |
| チウインガム行進曲 (1930) | 出演 |
| 屠殺者 (1930) | 出演 |
| 恋愛四重奏 (1930) | 出演 |
| 女は嘘つき (1929) | 出演 |
| 壁の穴 (1929) | 出演 |
| 力漕一挺身 (1927) | 出演 |